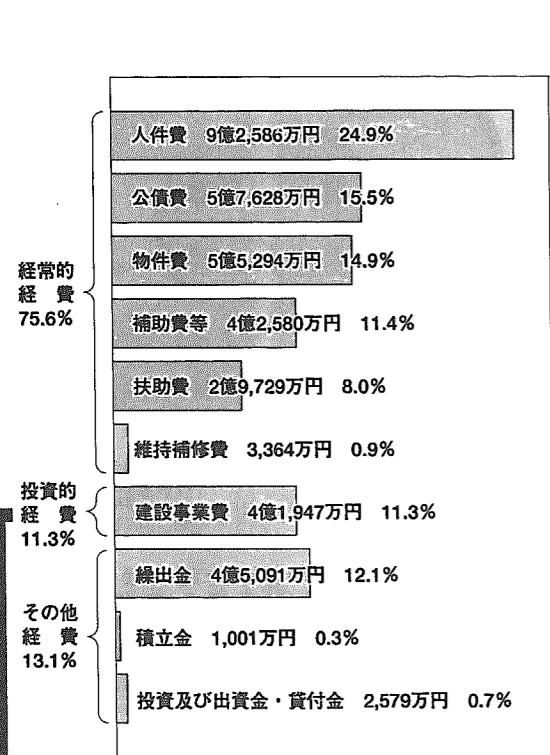
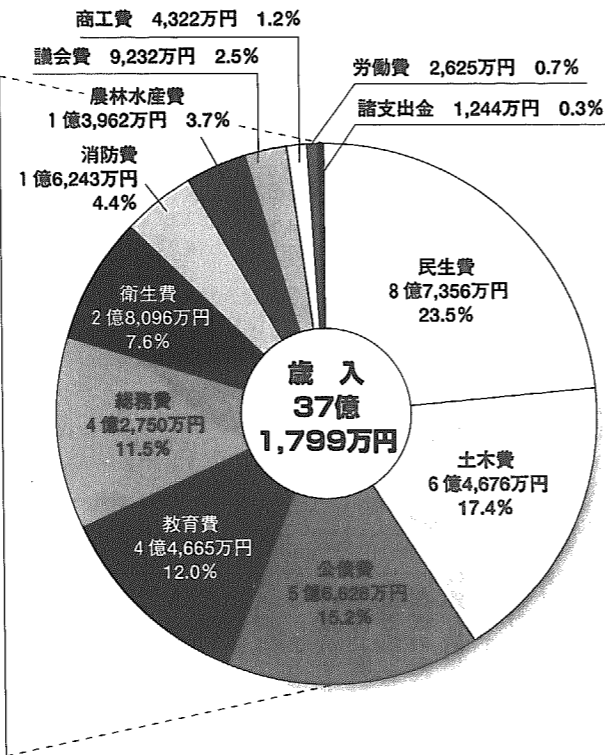


お知らせします 平成15年度 一般

〈表4〉歳出の性質別経費



〈表3〉歳出 37億1,799万円



〈表5〉投資的経費内訳

側溝等道路改修、道路舗装工事	2億1,573万円
横越中学校建設工事	7,122万円
雨水排水対策工事	4,158万円
街なみ環境整備工事	1,875万円
県営地盤沈下対策・古阿賀地区湛水防除事業等負担金	1,106万円
役場庁舎改修工事	806万円
東町会館建設等補助金	710万円
勤労者総合福祉センター購入	570万円
農村環境改善センター改修工事	330万円
その他(カーブミラー・区画線設置等)	3,697万円
合計	4億1,947万円

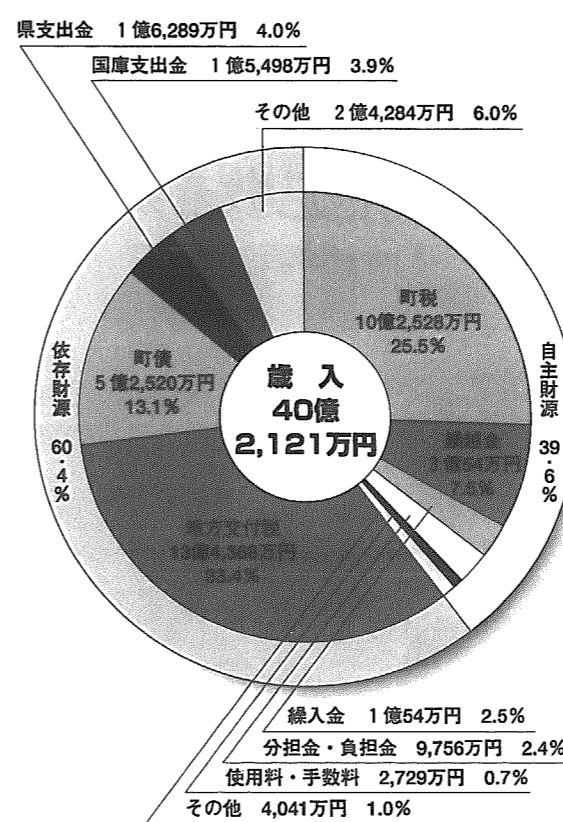
備、排水対策工事、道路除雪、地籍調査、教育費では、横越町所蔵郷土資料整理、中学校東校舎等解体・外構工事、コンピュータを活用したIT事業、外国語指導助手招致、総務費では、町勢要覧作成、交通安全対策、衛生費では、母子保健対策、各種検診、ごみ処理・リサイクル、消防費では、亀田町への常備消防業務委託、農林水産費では、水田農業経営確立対策、きのこ王国支援、古阿賀地区湛水防除事業負担金、県営地盤沈下対策事業負担金、農村環境改善センター補修工事、議会費では横越議会百年史「資料編」編さん、商工費では新潟県地方産業育成資金、労働費で横越勤労者総合福祉センター購入等がありました。次に性質別経費として見ますと、町議会議員や各種行政委員の報酬、職員の給与である人件費(対前年度比5、330万円減)、公債費(179万円減)、物件費(5、201万円増)などの経費的経費は、合わせて28億1、181万8千円で全体の75.6%、道路や公園などの整備、建物などの建設などの投資的経費は、中学校の新校舎の建設終了によって前年度よりも8億7、730万円減少して4億1、947万円、全体の11.3%を占めています。投資的経費の内訳は(表5)のとおりです。

町では、今後ますます増大する行政需要に対応するため、収支に対する財政状況の把握を行い、税収の確保、予算の効率的な執行により、今後も限られた財源の有効活用を努めます。

会計決算

平成15年度の町のお金がどのように使われ、町の財政がどのように運営されたかを町民の皆さんに知っていただくため、一般会計決算の結果をお知らせします。

〈表1〉歳入 40億2,121万円



歳入内訳

歳入については、(表1)のとおりです。町税や繰入金などの自主財源は39.6%、これに対して地方交付税や町債、国庫支出金などの依存財源は60.4%となっています。

9月14日から24日まで開催された町議会9月定例会において、平成15年度決算が審査され、認定されました。

一般会計は、当初予算37億7、700万円でスタート。その後9回の補正を行い、決算額は歳入総額40億2、120万5千円、歳出総額37億1、799万3千円となりました。中学校改築事業の完了に伴い、前年度と比べ、歳入は8億4、528万円、歳出は8億4、795万円で、それぞれ大幅に減少しました。

歳出内訳

目的別歳出の状況は(表3)のとおりです。主なものとして、民生費では、在宅寝たきり老人等家庭援助、ホームヘルパー派遣、高齢者の福祉施設入所、県障医療費助成、障害者施設訓練等支援、心身障害児者通園通所補助、私立保育園委託、土木費では、道路舗装・側溝改修工事、自歩道新設工事、道路用地取得、街なみ環境整

町の財産(平成15年度末現在)

・土地	240,410㎡
・建物	35,836㎡
・基金	12億2,370万円

町の借入金残高(平成15年度末現在)

・一般会計	47億7,679万円
・下水道事業特別会計	38億9,302万円
・水道事業会計	2億3,035万円

町民1人当たりに使ったお金

54万4,966円
(前年度 62万7,492円)

町民1人当たりの借入残高

77万2,717円
(前年度 78万8,934円)

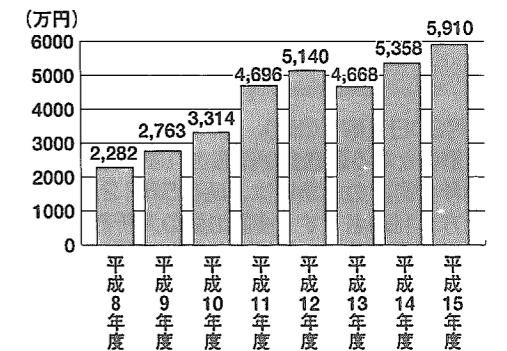
平成15年度末の人口11,518人として計算

町税の内訳

	総額	町民1人当たり
固定資産税	5億6,684万円	49,213円
町民税	3億6,355万円	31,564円
たばこ税	6,783万円	5,889円
軽自動車税	2,517万円	2,185円
鉱産税	189万円	164円
合計	10億2,528万円	89,015円

(前年度対比3.1%減)

〈表2〉町税の収入未済額(滞納額の累積額)



平成15年度 一般会計決算

徴収率は、町民税は95.60%で前年度と比べ0.63ポイント、固定資産税は92.74%で1.18ポイントそれぞれ低下しました。平成15年度における町税の滞納額の累積は、5、910万1千円と、多額なものとなっています(表2)。税金は期限までに納入しましょう。

主財源は39.6%、これに対して地方交付税や町債、国庫支出金などの依存財源は60.4%となっています。増減額を見ると、昨年度と比べ、町債は3億1、497万6千円、国庫支出金2億6、087万4千円、地方交付税1億9、587万4千円、繰入金1億8、449万5千円、町税3、313万7千円など多くの区分で減額となりました。増加したものは繰入金1億5万1千円、県支出金2、810万8千円などです。